

平成 28 年度

第 3 回長南町地域公共交通活性化協議会

平成 28 年 10 月 28 日

長 南 町

目 次

頁

1. 地域公共交通網形成計画について
2. 地域公共交通網形成計画の策定フロー
3. 長南町の現況
4. 長南町の各種計画における公共交通の整備方針
5. 公共交通に対するニーズ把握
6. 地域公共交通網形成における課題
7. 長南町地域公共交通網形成計画の基本方針

第3回協議会資料での掲載内容

8. 長南町地域公共交通網形成計画の目標と施策.....	1
8－1. 施策の実施体系	1
8－2. 計画の目標と目標達成のための施策.....	2
8－3. 施策の実施により構築する輸送体系.....	11
8－4. 実施主体	12
8－5. 達成状況を評価する数値指標	13
8－6. 数値指標における目標値（案）	14

8. 長南町地域公共交通網形成計画の目標と施策

8-1. 施策の実施体系

町の現状及び課題を踏まえ示した施策の展開の方向性を踏まえ、目標を設定した上で、施策を実施する。なお、目標の達成状況は、数値指標により、定期的に評価、検証を行う。



8-2. 計画の目標と目標達成のための施策

町の地域公共交通網を継続的に、より使いやすく改善していく仕組みとして、目標を定め、目標を達成するための施策を実施する。

(1) 高速バス運行の維持・充実

【現状における課題】

- ・羽田空港・横浜駅及び東京駅・東雲車庫の方面があり、長南駐車場バス停での利用が可能であるが、このバス停には、路線バス、巡回バスが停車しないため、乗り継ぎ利用が不便な状況にある。

【目標】

- ・東京及び横浜方面への広域的連絡の骨格軸であり、通勤、観光など広域的な移動に対応し、自動車や高速バスを利用した通勤流動の活性化及び観光客などの交流人口の増大のために、高速バス利用時の利便性を向上する。

【施策】

- ・路線バス及び巡回バスへの乗り継ぎを可能とするため、長南駐車場バス停での路線バスと巡回バスの運行時刻の調整の検討を実施する。

東京及び横浜方面で向かう際に乗車



東京及び横浜方面から来訪する際に降車



写真 長南駐車場バス停

(2) 路線バス運行の効率化

【現状における課題】

- ・路線バスの大半の系統は長南営業所を經由し、行き先は、茂原駅、牛久駅、鶴舞駅といった鉄道駅への路線で構成され、茂原駅へ複数の系統が運行されている。なお、長南営業所では、近接する役場前バス停で巡回バスとの乗り継ぎは可能であるが、高速バスとの乗り継ぎは難しい。
- ・長南営業所を經由する茂原駅や三川方面では、巡回バスの経路と競合する箇所がある。

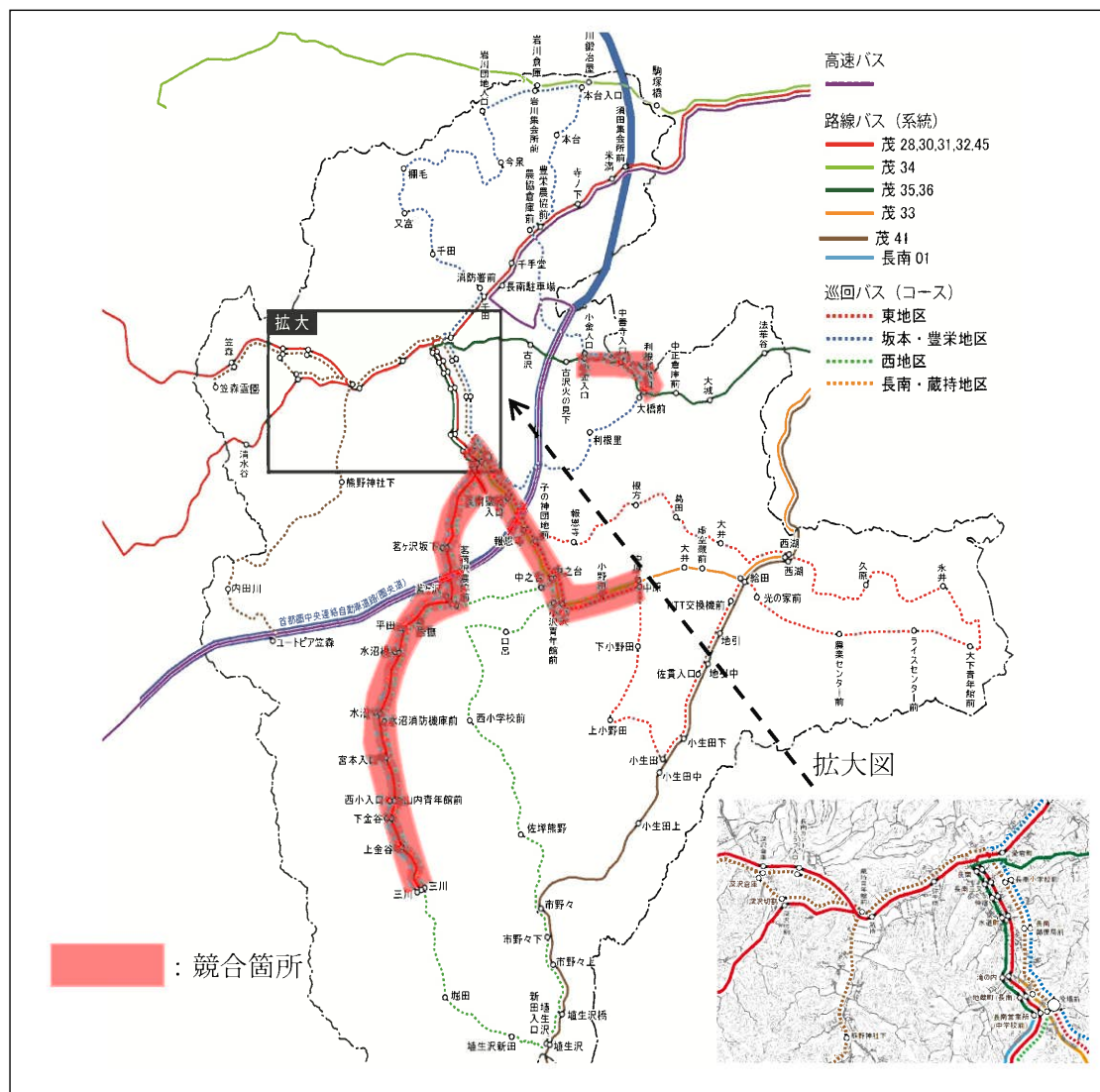


図 8-2-1 巡回バスと路線バスの茂原駅や三川方面での競合箇所

【目標】

- ・茂原市街及び牛久、鶴舞方面の周辺都市及び町内拠点間連絡の幹線軸であり、通勤・通学、通院、買い物、観光などの移動に対応し、少子化と高齢化が進んでいるなか、定住の促進のために、路線バス利用時の利便性を向上する。
- ・町の人口減少による運賃収入減少を見据え、運行サービスの適正化を図る。

【施策】

- ・高速バスとの乗り継ぎを可能とするため、長南駐車場バス停での路線バスの運行時刻の調整の検討を実施する。
- ・茂原駅や三川方面の系統を対象に、経路の位置及び本数等の見直しの検討を実施する。

（３）巡回バス運行の効率化

【現状における課題】

- ・乗合タクシーの導入以後、利用者数の減少が著しく、運賃収入も減少している。町では、乗合タクシーの導入以後、運行本数を減便したが、運行に対する委託料は毎年負担となっている。
- ・利用の特徴として、女性の高齢者の通院等の利用が多いこと、帰りは乗合タクシーを利用といったことが挙げられる。
- ・東コース、西コース、坂本・豊栄コースは、路線バスの経路と競合する箇所がある。

【目標】

- ・町内の公共交通空白地域の解消を担う支線軸で、通院、買い物、観光などの移動に対応し、少子化と高齢化が進んでいるなかでの定住の促進及び交流人口拡大によるまちの活性化のために、巡回バス利用時の利便性を向上する。
- ・町の人口減少による運賃収入減少を見据え、運行サービスの適正化を図る。

【施策】

- ・平成 29 年 4 月導入される長南小学校のスクールバス導入後の利用状況を踏まえ、小学生以外の利用実態を考慮した上で、本数及び運行経路等の運行サービスの見直しを行う。また、全路線の利用者数の推移を踏まえ、町内の観光施設へ来訪可能な運行経路の検討を実施する。

※巡回バスの運行の存続意義について

- ・現行の路線バスと極力競合しない経路で運行しており、利用者数は減少しているが、町民の意識においては、今は自家用車を運転しているものの、将来の移動手段を心配する声もある。
- ・公共交通事情が悪化することにより、人口の流出がさらに進み、地域の衰退が加速する恐れがあることから、運行の効率化によって、存続することが必要である。

（４）乗合タクシー運行の維持・充実

【現状における課題】

- ・平成２４年導入以降の登録者数は毎年増加している。その一方で、運行に対する町の委託料は毎年増加している。
- ・利用の特徴として、女性の高齢者の通院、買い物等の目的で、午前の早い時間帯に利用者が多く、目的地は町内や茂原市となっており、茂原市へは路線バスへ乗り継いで移動している。また、利用者からの要望として、運行日や時間帯の設定に関する内容がある。

【目標】

- ・高齢者、障がい者などの交通弱者の移動を支援する補完軸であり、通院、買い物などの移動に対応し、高齢化が進んでいるなかでの定住の促進のために、乗合タクシー利用時の利便性を向上する。

【施策】

- ・利用時の外出行動の状況、町内の病院の開業時間等を踏まえ、町の財政面での負担状況も加味し上で、平日の午後の時間帯の延長の可能性を検討する。

※土曜・日曜における運行について

- ・乗合タクシー利用者のアンケート調査結果においては、運休日は、同居している家族の方の自家用車での送迎が多い。また、利用目的の多い通院での病院の開業時間も短い。このような状況を踏まえ、土曜・日曜での運行の必要性は低い。

（５）交通結節拠点の整備

【現状における課題】

- ・ 町内の公共交通手段は、高速バス、路線バス、巡回バス、乗合タクシーで構成されている。路線バスと巡回バスは、長南営業所や町役場バス停がある長南地区等でのバス停で乗り継ぎ可能である。しかし、高速バスは、長南駐車場バス停に路線バスや巡回バスが停車しないため、乗り継ぎ利用は難しい。

【目標】

- ・ 通勤、通学、買い物、通院等の様々な目的での移動に対応し、通勤流動の活性化、高齢者・障がい者の日常生活での公共交通利用による外出機会の創出、観光客などの交流人口の増大のために、公共交通手段相互の連絡強化を図るとともに、地方創生によるまちづくり事業とも連携しながら、まちの交流の場としての活用を目指す。

【施策】

- ・ 公共交通網、道路状況、観光及び公共施設の立地状況を踏まえ、乗り継ぎ可能な交通結節拠点の整備の検討を行う。なお、交通結節拠点については、下記の機能を有する空間の整備を検討する。

交通空間機能：バスの乗降場所、乗用車の乗降場所

乗用車及び自転車駐車場の配置

休憩機能：上屋やベンチ、トイレ等の設置

交通情報機能：各交通手段の案内、乗り継ぎ方法の案内表示

地域連携機能：特産品売り場（米、レンコン、酒等）

ゴルフ場や観光施設の案内表示

路線バス：長南営業所バス停



巡回バス：町役場バス停



写真 町内での乗り継ぎ場所

（６）公共交通の利用促進

【現状における課題】

- ・町民の外出時の交通手段は、自動車利用に依存し、高齢者においても、買い物や通院目的での移動でも同様な傾向にある。しかし、その一方で、高齢者は、現在は、まだ公共交通を利用していないが将来的に利用したいと考えている方もおり、公共交通利用に係わる環境整備が必要な状況にある。

【目標】

- ・町の公共交通手段の利用に係わる情報を発信し、公共交通の認知度の向上及び自発的な利用意識の醸成を目指す。

【施策】

- ・バス路線の運行経路や乗り継ぎ場所、公共施設、観光施設等を掲載した地域公共交通マップ作成の検討を行う。作成した地域公共交通マップは、今後、転入された方への配布や、公共施設及び観光施設での配置により、公共交通のPR活動に使用する。
- ・町の観光施設と連携し、観光施設や町のホームページにおいて、高速バス、路線バス、巡回バス、乗合タクシーの運行情報を一元化して発信する。

- ・自動車運転免許証の自主返納者に対して、公共交通利用に係わる優遇措置の検討を実施し、公共交通利用の促進を図る。

◆**周辺自治体における自動車運転免許証の自主返納者に対する公共交通利用に係わる優遇措置**

●市原市

- ・小湊鐵道株式会社が発行する「ノーカー優待証」を提示すると、コミュニティバスの乗車運賃が半額

●茂原市

- ・運転経歴証明書の提示により、市民バス、デマンド交通の乗車運賃半額
※ デマンド交通は、運行エリア内の居住者で事前の利用登録が必要

出典：千葉県警ホームページ

※**周辺自治体における公共交通利用促進のための優遇措置**

●白子町

通学の定期券の購入費を一部補助

- ・補助金額は定期券購入額の2分の1（上限：1ヶ月1万円）
- ・対象路線は、茂原駅～白子車庫線、茂原駅～白里海岸線、本納駅～白子車庫線、大網駅～白子車庫線の4路線

●睦沢町

町内在住及び学生の回数券および定期券の購入費の補助

- ・補助金額は下記の通り
回数券：4,560円分の回数券を2,000円で購入
定期券：2分の1の金額で購入
- ・対象路線は、茂原駅～道の駅つどいの郷むつざわ、一宮駅～大多喜車庫の2路線

- ・学校、交通事業者、各種団体等に連携して、バスの乗り方の案内など、バスの日（9月20日）を中心とした公共交通利用の啓発活動の検討を実施する。

◆京成バスにおけるバスの日のイベントの実施状況

『京成バスお客様感謝フェスティバル』の概要

- 開催日時 平成28年10月8日（土） 10時～15時 ※荒天中止
（当日中止の場合は、京成バスホームページで7:00にお知らせします）
URL⇒ <http://www.keiseibus.co.jp/index.html>
- 会場 幕張メッセ屋外展示場
会場へのアクセス
鉄 道：JR京葉線 海浜幕張駅より徒歩 約10分
バ ス：京成線・JR総武線 幕張本郷駅から、
①京成バス(幕01)「幕張メッセ中央」行き乗車、終点下車 または
②京成バス(幕01)「QVCマリンフィールド・医療センター」行き乗車、
「タウンセンター」下車
運賃 現金：250円 IC：247円
（※海浜幕張駅から乗車する場合は現金：100円、IC：165円）
- イベント
 - 車両展示コーナー**
当社の特徴のある車両の展示を行い、車内を自由に見学いただくほか、お子様向けに当社の制服・制帽を着用いただき、運転席や車両の前で記念撮影を行います。
 - バスとの綱引き大会**
参加者が力を合わせてバスを綱で引き、バスの重さを体感いただけます。
なお、参加者の皆様には参加賞をご用意しております。
 - 高速バス試乗会**
当社特別仕様の新型夜行高速バス「K★スター・ライナー」と、創立10周年を記念して2013年に製造された車両に試乗し、乗り心地・座り心地を体験いただけます。
※道路状況により予定通り運行できない場合がございますので、ご了承ください。
※乗り場先着順となります。
 - バスの洗車機体験**
バスが洗車機をくぐる様子を車内からご覧になれます。
※乗り場先着順となります。
 - ステージイベント**
 - チバテレ「チュパチュパワンダーランド」ステージショー**
人気キャラクター「キャプテン☆C」たちが登場し、歌やダンスで会場を盛り上げます。
 - 吹奏楽演奏**
京成バスの沿線にある学校の生徒の皆様による吹奏楽演奏を行います。
出演いただく学校（出演順）
 - ・習志野市立第五中学校 様
 - ・千葉県立千葉商業高等学校 様

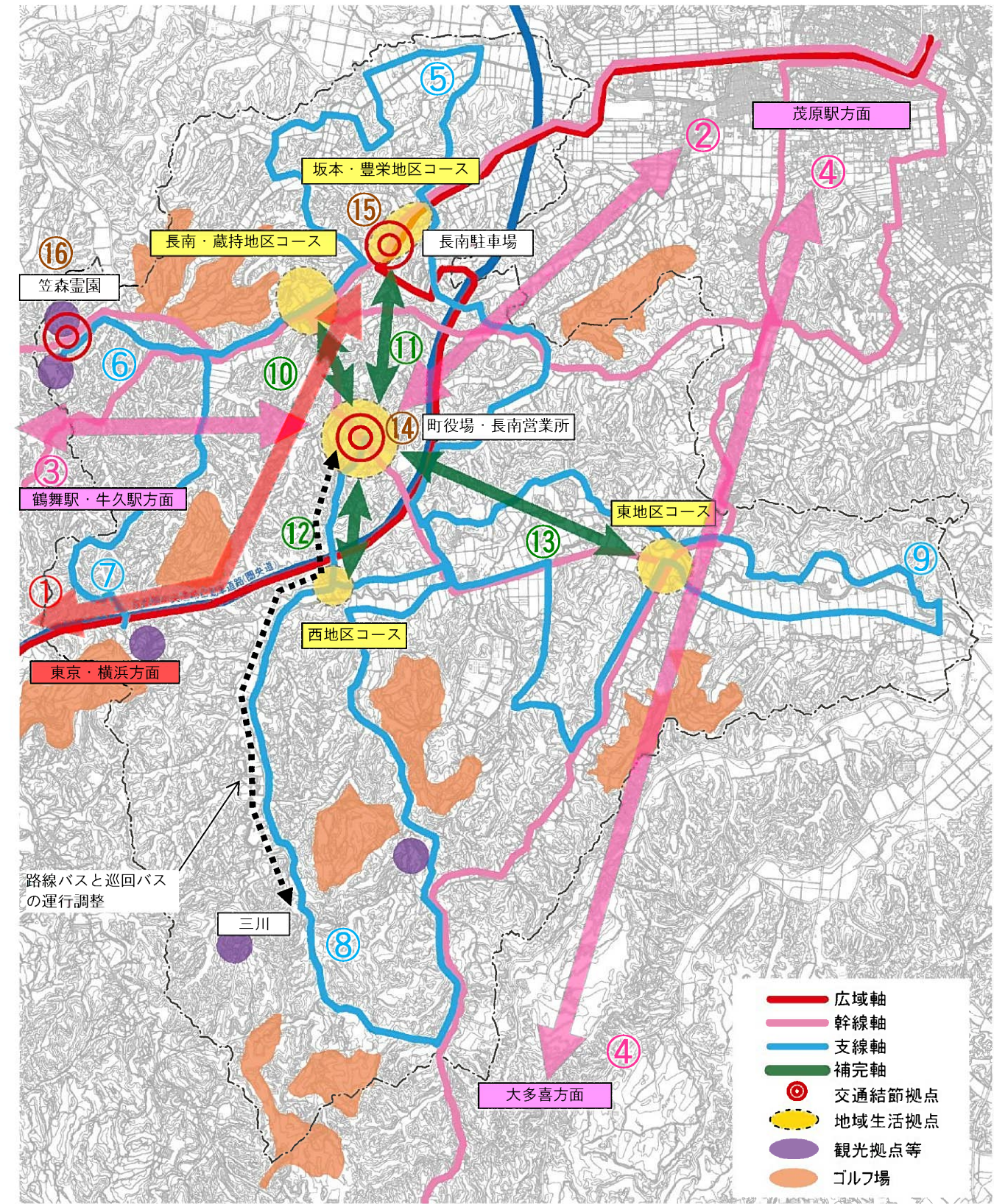
出典：京成バスホームページ

8－3．施策の実施により構築する輸送体系

前章に示した施策の実施によって構築する輸送体系を下図に示す。

表 8-3-1 施策の実施により構築する輸送体系

要素機能	構築内容	網形成計画での留意事項	図の凡例
広域軸	・高速バスの東京・横浜方面～長南駐車場間を設定	・長南駐車場に停車する路線バス の時刻の調整	①
幹線軸	・路線バスの茂原駅、牛久駅、 鶴舞駅～長南営業所間と茂原 駅～大多喜間を設定	・茂原駅～長南営業所間は、巡回 バスとの競合箇所があり、経路 設定等の見直し	②～④
支線軸	・巡回バスを路線バスと競合させず、 町内の公共交通空白地 域をカバーし、周辺自治体と の境付近までの経路を設定	・平成 29 年度導入されるスクー ルバス導入後の利用者数の推 移を踏まえ、本数及び運行経路 等の運行サービスの見直し ・長南駐車場での交通結節拠点整 備後の利用者数の推移を踏ま え、観光入込客数の増加のため、 長南駐車場から来訪可能な 経路の設定 ・路線バスと競合する長南営業所 ～三川間は支線軸として位置 づけ、路線バスとの運行調整 ※図中の黒点線の箇所	⑤～⑨
補完軸	・自宅より町内の施設までの移 動を可能とするため、乗合タ クシーを設定	・平日午後時間帯での 運行時間帯の延長	⑩～⑬
交通結節拠点	・高速バス、路線バス及び巡回 バスの乗り継ぎを可能するた め、長南駐車場を設定	・現況で乗り継ぎ可能な町役場及 び長南営業所、笠森霊園バス停 は、休憩機能、情報提供機能の 整備	⑭～⑯



※地域生活拠点は、公共施設等の立地する箇所を図示

図 8-3-1 施策の実施により構築する輸送体系

8-4. 実施主体

目標を達成するために行う施策の実施主体と関連主体を以下に示す。

表 8-4-1 施策の目標及び実施施策に対する実施主体及び関連主体

目標		実施施策	実施主体◎ 関連主体○		
			長南町	交通事業者	地域
・高速バス利用時の 利便性向上		・長南駐車場バス停での路線バスと 巡回バスのバス停の運行時刻の調 整の検討	◎	○	
路線 バス	・利便性向上	・長南駐車場バス停での乗り継ぎ時 の待ち時間短縮のための運行時刻 調整の検討	○	◎	
	・運行サービスの 適正化	・茂原駅や三川方面の系統で、経路 位置本数等の見直しの検討	○	◎	
巡 回 バ ス	・利便性向上	・町内の観光施設への来訪可能な運 行経路の変更の可能性の検討	◎	○	
	・運行サービスの 適正化	・本数及び運行経路等の見直し	◎	○	
・乗合タクシー利用時の 利便性向上		・平日午後の運行時間帯の延長の可 能性の検討	◎	○	
・交通結節拠点を公共交通 手段相互の連絡強化とま ちの交流の場として活用		・高速バス、路線バス、巡回バスの 乗り継ぎ可能な交通結節拠点の 整備の検討	◎	○	○
・公共交通の認知度向上 及び自発的な利用意識 の醸成		・地域総合交通マップの作成の検討	◎	○	
		・観光施設との連携の検討	◎	○	○
		・免許返納に対する優遇措置の検討	◎	○	
		・啓発活動の実施の検討	◎	◎	○

8-5. 達成状況を評価する数値指標

計画の目標の達成状況を評価するために、数値指標を設定する。

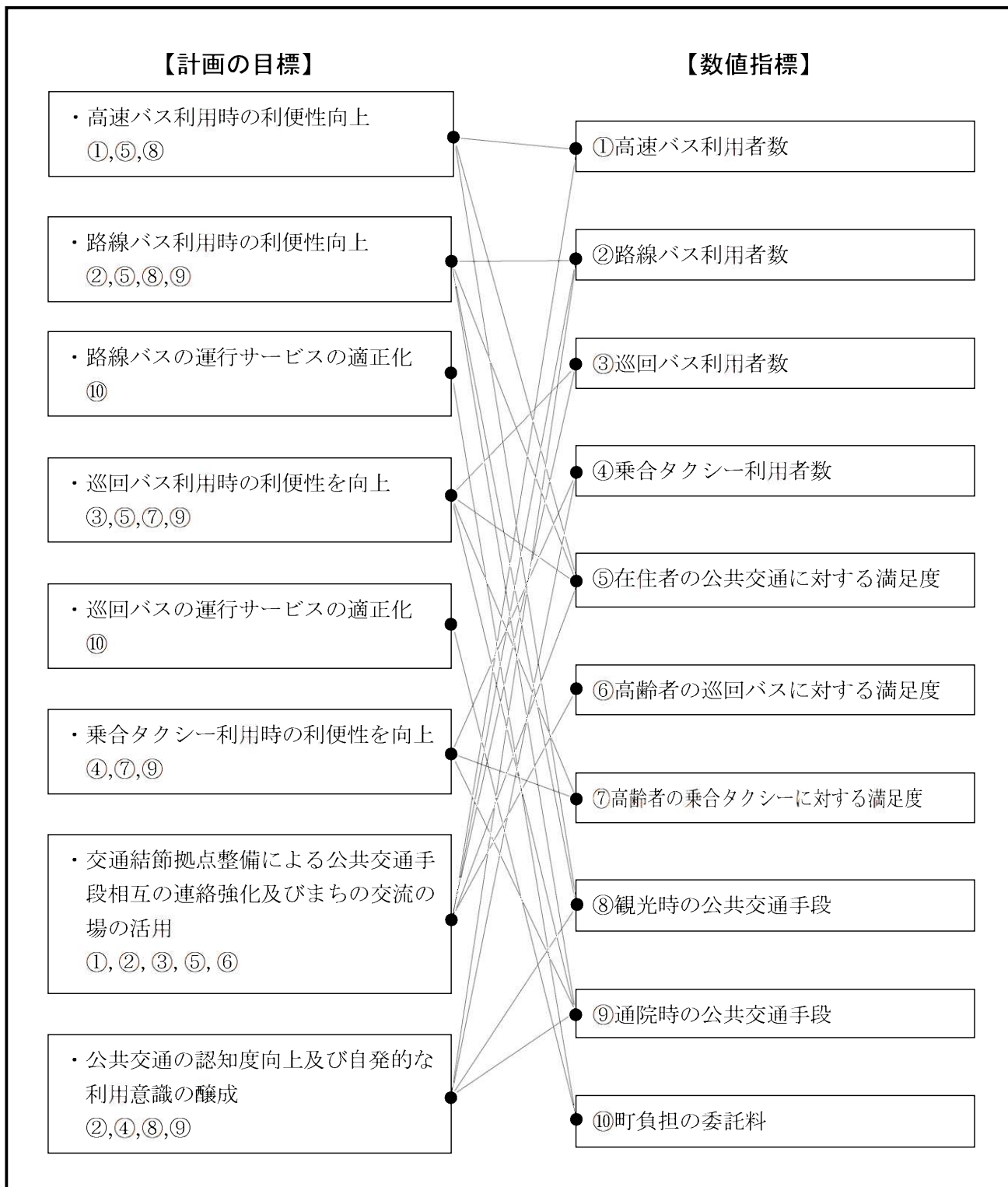


図 8-5-1 計画の目標と数値指標の関連性

8-6. 数値指標における目標値（案）

（１）評価で用いるデータの収集

目標の達成状況を評価するために用いるデータ、実施時期を設定した上で収集する。下記にデータの収集の実施時期を示す。

- ・利用者数と町の財政負担については、毎年データを収集する。
- ・H27～H28 にかけて実施した町民アンケートと高齢者アンケートを 5 年後の H32～H33 に実施する。
- ・観光施設のアンケートは、計画策定後の 5 年後の H33 を実施時期としているが、施策の実施状況にとっては、公共交通利用状況の把握のために、H31 に、中間での実施の可能性もある。

表 8-6-1 評価で用いるデータの収集とその実施時期

収集するデータ		収集方法	実施時期				
			H29	H30	H31	H32	H33
利用者数	高速バス利用者数	交通事業者の実績資料	○	○	○	○	○
	路線バス利用者数	交通事業者の実績資料	○	○	○	○	○
	巡回バス利用者数	町の実績資料	○	○	○	○	○
	乗合タクシー利用者数	町の実績資料	○	○	○	○	○
満足度	在住者の公共交通に対する満足度	町民アンケート				○	
	高齢者の巡回バスに対する満足度	高齢者アンケート					○
	高齢者の乗合タクシーに対する満足度	高齢者アンケート					○
利用実態	観光時の公共交通手段	観光施設でのアンケート			(○)		○
	通院時の公共交通手段	高齢者アンケート					○
町の財政負担		町の実績資料	○	○	○	○	○

○：実施時期

(2) 目標値の現況

①利用者数

数値指標	指標の定義	現況値 (H27)
高速バス	長南駐車場バス停での年間利用者数	14,583人
路線バス	牛久系統と茂原長南系統の年間利用者数	85,998人
巡回バス	年間利用者数※	2,406人
乗合タクシー	年間利用者数	8,329人

※平成29年度に小学生通学のスクールバスが導入されることを考慮し、児童・生徒を除いた利用者数とした

②満足度

評価指標	指標の定義	現況値 (H27・H28)
在住者の公共交通に対する満足度	町民アンケートで、利便性に「満足」と回答した割合	4%
高齢者の巡回バスに対する満足度	高齢者アンケートで、利用している人のうち、「満足」と回答した人の割合	41%
高齢者の乗合タクシーに対する満足度	高齢者アンケートで、利用している人のうち、「満足」と回答した人の割合	66%

③利用実態

評価指標	指標の定義	現況値 (H28)
観光時の公共交通手段	笠森霊園来訪者へのアンケートで、高速バスの利用と回答した人の割合	7%
通院時の公共交通手段	高齢者アンケートで、外出時の交通手段を「路線バス」、「巡回バス」、「タクシー」、「乗合タクシー」と回答した人の割合	9%

④町の財政負担

指標の定義	現況値 (H27)
巡回バス委託料	843万円
乗合タクシー委託料	956万円